

高麗大学校訪問記

看護学部 121046 白石香織

1. はじめに

2012年9月17日～21日に、短期海外研修として韓国にある高麗大学校保健科学大学に訪問しました。韓国の保健医療システムに対して理解を深めることができました。また、高麗大学校保健科学大学において講義を受講し、現地の学生と交流することができ、コミュニケーション能力の重要性がわかりました。この研修で幅広いものの見方や考え方を養うことができました。

2. 授業について

高麗大学では、放射線治療についての講義を2限(約3時間)受けました。この講義はすべて英語で、内容は放射線学部の学生が学ぶものだったのでとても難しかったです。休み時間に大野先生や高麗大学の学生であるハンさんに教えてもらったので、おおまかに内容を理解することができました。講義の中でIMRTという放射線治療の説明がありました。IMRTとは強度変調放射線治療のことで、最新のテクノロジーを用いて照射野内の放射線の強度を変化させて照射を行う方法のことです。IMRTを使えば、腫瘍の形に合わせた線量分布を形成でき、正常組織の被ばく線量を減らすことができ、治療効果を高められます。看護学生として、学ぶことのないことだったのですごく面白いなと感じたし、とてもいい経験になりました。自分の専門ではないけれど、こういった知識を身につけておくことはいずれ生かせると思うし、大事なことだと感じました。

講義はすべて英語だったのでとても苦しかったです。ちょっとした単語や言っていることは理解できても、専門的な用語はよくわからなかったし、全体的に理解するのに時間がかかりました。講義の中でよくわからないところは多々あり、自分の英語力のなさを痛感しました。高麗大学では英語での講義を5単位取る必要があるそうです。いい制度だと思いました。高麗大学の学生と交流した時にみなさん英語で話してくださって、とても流暢で当たり前のように喋っていてすごいなと感じました。それは日々、英語での講義を受けているからだろうと思います。日常的に英語を聞いていれば自然と身につくだろうから、導入されて欲しいと思いました。今回の研修では、自分をもっと英会話力があれば、伝えたいことをはっきりと伝えることができただろうし、交流した人々とさらに理解が深められたかもしれないと感じました。グローバルな世の中になっていて、これから医療に従事する者として英語力があれば武器になると思うし、多くの人に最適な医療を与えられると思うし、求められてくることだと思うので積極的に学んでいきたいと思いました。



3. 老人病院について

今回の研修では、ミソドル老人病院の見学をさせていただくことができました。大変貴重な経験になりました。ソウル・モクドン・ゲボンの都市公園、ジヤン山の南側に位置している穏やかな自然に囲まれたところにあります。病院の方々は私たちをととても歓迎してください、親切に詳しく病院を案内してくださいました。普通では立ち入れない病棟を特別に私たちのために見学させていただきました。私たちの質問に対しても親身になって答えてくださいました。ミソドル老人病院には、老人病院とシルバーケアセンターが一緒にあります。2008年に開院したミソドル病院は複合医療福祉施設であり、リハビリ/療養専門病院、専門療養施設、昼・夜間保護センター、訪問看護センター、訪問療養センター等があります。施設の規模は地上5階、地下2階で、延べ5738㎡あります。49病室あり、233病床あります。現在、隣に新しい病棟を建設中で、それが完成すると300病床増える予定です。診療科目は、神経科、リハビリ科、形成外科、内科、漢方科があります。ミソドル老人病院の職員数は162人です。医師は8人、看護師と准看護師は56人、リハビリ治療室（リハビリ療法士、作業療法士、言語療法士）には40人、薬局には2人、栄養士は3人、調理師3人、放射線士は1人、あとは事務の方や清掃、食堂の方々です。ミソドル老人病院についての説明のあと、病院内を見学させていただきました。病院の廊下には絵や写真が飾られていました。病室は日本と似ていました。リハビリ室では多くの患者と療法士が体を動かしたり、作業をしたり、リハビリをしていました。それから、光療法室を見せてもらいました。聞き慣れない治療法であったのでみんなとても興味深そうに見学していました。週に何回か光に当たることで生活リズムを戻すことができ、睡眠障害を解決することができるそうです。次に、ICUを見せてもらいました。老人病院なので、一般的な病院のI

CUとは違いました。危険になる可能性のある患者や特別な処置が必要な患者が入院していました。様々な機械があったり、管につながれた患者がいたりするような一般的に想像するICUとは違うものでした。そのあと、デイケアセンターも見せてもらいました。ちょうど食事をしていました。日本の老人ホームと同じような感じでした。他には、患者が何階にいるのかわかるように階ごとに壁紙の色が違っていたり、認知症の患者を保護する保護センターでは患者が誤った方へ行かないようにしっかり管理されていたりと工夫されていました。海外に行って病院を見学するという経験は簡単にできることではないし、丁寧に案内して下さったので得るものがたくさんありました。このような機会を得られてとても嬉しく思うと同時に、大歓迎して下さったミソドル病院の皆様に感謝したいです。



4. おわりに

今回の研修で、多くの貴重な体験ができ、無事に終わられたことを嬉しく思います。また、有意義で楽しく過ごすことができました。学んだことをこれからの生活に積極的に生かしていきたいと感じています。